

あいち農産物生産流通レポート

平成26年5月号

情報サロン		
・安全・安心な漬物づくりに向けて ~漬物技術研究会の講演から~ (園芸農産課)		1
地域トピックス		
・花を楽しみ、花を親んでもらう活動を続ける海部花き連 (海部農林水産事務所)		2
東日本情報		
・京浜市場における平成25年産の愛知県産農産物の動向 (東京事務所)		3
西日本情報		
・平成25年度 卸売市場活性化実務講座について (食育推進課)		6
フラワーページ		
・第63回関東東海花の展覧会を開催しました。 (園芸農産課)		8
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		10
・名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し		11
花 き		
・切花・鉢花の5月の見通し(県内市場)		23
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2014年2月)		27
関連指数		28

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

安全・安心な漬物づくりに向けて ～漬物技術研究会の講演から～

園芸農産課

平成26年3月4日、名古屋市西区の食品工業技術センターにおいて、食品工業技術センターと公益社団法人愛知県漬物協会の共催で、「漬物技術研究会」が開催されました。この研修会では、毎年、食をテーマに様々な話題の提供を行っています。平成24年8月に北海道で発生した浅漬の食中毒事件を漬物業界として重く受け止めたことから、今回は、漬物の製造現場における腸管出血性大腸菌0157対策、及びHACCPの考え方についての講演を行い、安全安心な漬物を製造するための知識を深めました。

漬物製造現場における腸管出血性大腸菌0157対策

腸管出血性大腸菌0157は、血便や脳症を発生させるベロ毒素を産生し、発症した場合、成人では軽症ですが、乳幼児と高齢者は重篤な症状となります。また、少ない菌数で発症し、潜伏期間が4～7日と長いため、感染源の特定が困難です。

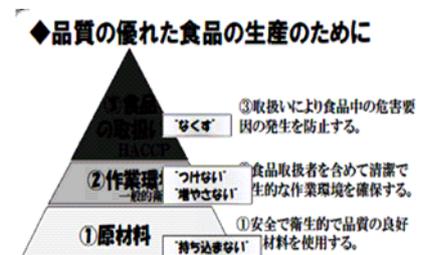
対策として、加熱や発酵を行わず低塩分で製造する浅漬では、原料野菜の洗浄と殺菌及び低温保存の徹底が重要です。また、漬物の衛生規範（平成25年12月改正）の順守にとどまらず、製造施設内では、手洗い後の紙タオル使用、手指の消毒、取手・スイッチ・器具等手の触れる部分の消毒を徹底します。（講師：株中部衛生センター）

腸管出血性大腸菌0157対策の講演



HACCPの考え方について

HACCPとは、食品の安全性を確保するための衛生管理のシステムです。その手順は、原料の入荷から製造・出荷の工程において、あらかじめ生物的・化学的・物理的危害を分析（Hazard Analysis）し、その危害を防止、排除、許容レベルまで低減するための重要管理点（Critical Control Point）とその管理基準を決め、その工程を重点的に管理するシステムです。この重要管理点を監視し、コントロールされていないと認められた時に講じる改善措置をあらかじめ規定しておきます。そして、このシステムを定期的に検証し、その記録を保管します。このように、製造施設毎にHACCPに基づく自主管理を行うことによって、食品の安全性を自ら保証し、消費者に衛生的で安全な食品を提供することができます。また、愛知県にはHACCP導入施設の知事認定制度があり、積極的な導入を呼びかけています。（講師：愛知県健康福祉部健康担当生活衛生課）



（参考）一般財団法人食品産業センター <http://www.shokusan.or.jp/haccp/> 公益社団法人日本食品衛生協会 <http://www.n-shokuei.jp/>

漬物業界の今後に向けて

HACCPの導入は簡単ではないと思われませんが、これからの食品製造施設に必要な不可欠ととらえ、今後も研修会等を通じて、業界全体でHACCP導入に向けた取組を進めていくこととしています。

花を楽しみ、花に親しんでもらう活動を続ける海部花き連

海部苗木花卉生産組合連合会（以下、海部花き連）は、海部地域の花き生産者が集い、地域の花き振興や、生産者の技術向上を図る目的で活動しています。

特に、地域の皆さんに花に親しんでもらう取組に熱心で、その活動を紹介します。

フラワーウォークを毎月開催

ひと月に一度、会員生産者が花を提供し、県海部総合庁舎及び各市町村庁舎にて職員向けに開催しています。購入したお花を持ち帰る（持ち歩く）ことにより、広く県民の皆様には花の美しさをPRしています。

地域のイベントで花育教室を実施

4月に主催した海部苗木花き展示品評会や11月に海南こどもの国で開催される秋まつりにて子供向けの花育教室を実施しています。多くのお子様や保護者の皆様に花とのふれあいを楽しんでいただいています。

花育ティーチャーの派遣

小学校の授業として開催される、寄せ植えやフラワーアレンジメントなどの花育教室（花の王国あいち需要拡大推進事業）に、本地域で生産されている花についてよく知る、地元の会員生産者を講師（花育ティーチャー）として派遣しています。

海部花き連は、これからもフラワーウォークや花育教室を通じて、県民の皆様には花に親しんでいただき、花のある暮らしのPRによる花きの振興・消費拡大に力を入れていきます。



（フラワーウォークの様子）



（花育教室に参加するご家族）



（小学校にて寄せ植え教室）

京浜市場における平成25年産の愛知県産農産物の動向

東京における本県産農産物の状況

平成25年産（平成25年1月から平成25年12月）の東京都中央卸売市場（9市場）（以下、「京浜市場」という。）での愛知県産農産物の取扱高は、野菜191.8億円（シェア5.3%）、果実22.3億円（1.4%）、花き121.6億円（14.1%）、合計335.7億円（5.6%）と、47都道府県の中で茨城県、千葉県、北海道に次いで第4位の取扱額となっています。上位5位までは 茨城県：557億円、千葉県：494億円、北海道：341億円、長野県：318億円となっています。

1 野菜

京浜市場での野菜の取扱高は、3,615億円で昨年を89億円上回りました。これは、東日本大震災の震災前の水準に近づき、その影響からの回復と夏秋期の相場が前年に比べ良かったことにより、東北・高冷地を中心に取扱高が増えたためと考えられます。なお、過去5年間の平均単価は平成21年@216円、平成22年@243円、平成23年@222円、平成24年@224円、平成25年@230円となっています。

本県産については、主力商品のキャベツをはじめトマト、ブロッコリーが春先からの豊作のため、相場が崩れ安値となったことから、前年と比較してキャベツは9ポイント（5.6億円）、トマトは16ポイント（5.7億円）、ブロッコリーは9ポイント（1.6億円）下回る結果となりました。一方、ミニトマトはほぼ横ばいで、大葉は7ポイント（1.5億円）上回りました。また、野菜全体で主要な品目が下回ったため、6ポイント（約12億円）下回る191.8億円となりました。前年が過去5年で最高の取扱金額となったことを考えるとまずまずの結果となりました。

2 果実

京浜市場での取扱高は、約1,569億円で前年を1ポイント（約17億円）下回りました。

本県産については、相場安となったイチゴが11ポイント（8.4千万円）、前年が豊作であった柿が11ポイント（5千万円）減少するなど、いずれの

品目においても前年を下回り、果実全体で前年を9ポイント(2.3億円)下回る22.3億円となりました。

3 花き

京浜市場での取扱高は862億円ではほぼ前年並みの実績でした。

本県産についても、全体では前年並の121.6億円になりました。全体的には依然として低い水準で厳しい状況ですが、景気の影響を真っ先に受ける洋らん鉢花については前年を3ポイント(2千万円)上回り、長引く景気低迷の中ではあったものの、各品目ともほぼ横ばいと一時よりも減少幅が小さく、下げ止まりの感がありました。

表1 主な品目の取扱金額(野菜)

単位：千円

品目	平成25年	平成24年	25/24	全国順位	上位産地
野菜計	19,176,517	20,350,094	94.2%	6位	茨城、千葉、北海道
キャベツ類	5,454,256	6,012,155	90.7%	1位	群馬、千葉
トマト	3,009,774	3,583,208	84.0%	3位	熊本、栃木
おおば	2,243,689	2,090,322	107.3%	1位	茨城、大分
ミニトマト	2,571,070	2,547,566	100.9%	1位	熊本、茨城
ブロッコリー	1,501,493	1,657,298	90.6%	1位	北海道、埼玉
ほじそ	485,057	440,577	110.1%	1位	沖縄、東京
さやえんどう	316,521	397,188	79.7%	1位	鹿児島、長崎
ふき	315,698	336,061	93.9%	1位	群馬、静岡

表2 主な品目の取扱金額(果実)

単位：千円

品目	平成25年	平成24年	25/24	全国順位	上位産地
果実計	2,234,859	2,469,042	90.5%	16位	青森、愛媛、栃木
いちご	691,417	775,785	89.1%	7位	栃木、福岡、佐賀
いちじく	497,255	544,812	91.3%	1位	和歌山、福岡
みかん類	527,367	560,073	94.2%	7位	愛媛、静岡、長崎
柿	378,414	427,451	88.5%	6位	和歌山、奈良、福岡
メロン	50,739	56,937	89.1%	10位	茨城、静岡、熊本

表3 主な品目の取扱金額（花き）

単位：千円

（花き）

	品目	平成25年	平成24年	25/24	全国順位	上位産地
	花き計	12,161,731	12,248,976	99.3%	1位	千葉、埼玉
切花	輪ぎく	4,373,459	4,385,748	99.7%	1位	沖縄、静岡
	スプレー菊	1,329,548	1,381,253	96.3%	1位	栃木、群馬
	ばら類	889,103	891,490	99.7%	2位	静岡、山形
	カーネーション類	350,332	340,959	102.7%	3位	長野、千葉
	アルストロメリア	439,766	449,542	97.8%	2位	長野、山形
	切花計	8,713,186	7,448,992	117.0%		
鉢	観葉植物	1,397,105	1,410,245	99.1%	1位	静岡、鹿児島
	鉢花	748,184	799,203	93.6%	2位	埼玉、千葉
	洋らん鉢物	664,801	642,778	103.4%	3位	埼玉、栃木
	鉢物計	2,810,090	2,852,226	98.5%		
	苗物	190,570	190,174	100.2%	6位	埼玉、神奈川、千葉

平成25年度 卸売市場活性化実務講座について

卸売市場のせり人等関係者を対象に、生鮮食料品等の流通等に関する幅広い知識を習得してもらうため、平成26年3月4日(火)に卸売市場活性化実務講座を愛知県東大手庁舎で開催しました。

当日は、卸売市場関係者53名が参加し、東海農政局 経営・事業支援部事業戦略課 杉田実 流通・企業係長から「卸売市場施設整備事業」の予算、内容について説明いただくとともに、中京大学総合政策学部 坂田隆文准教授を講師にお招きし、「商品企画とマーケティング力の向上」と題する講演をしていただきましたので、その講演の内容について紹介します。



講演する坂田氏

1 マーケティングの基本的理解

・マーケティングとは、企業が、顧客との関係の創造と維持を、様々な企業活動を通じて実現していくこと。顧客をどのように生み出し、その関係をどのように続けていくのかが重要である。

・マーケティングを考えるときに、消費者、競争相手との状況、取引関係との関わりを考えることが重要。具体的には、以下のとおり。

消費者：その商品を販売することによって、消費者(顧客)が何を求めているのか。

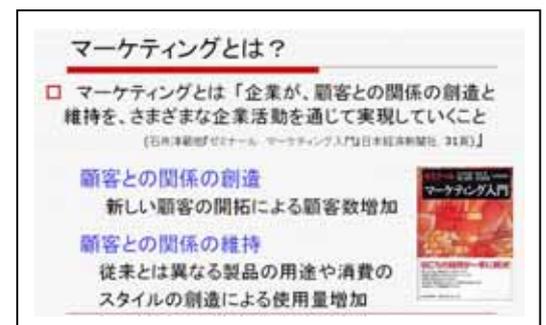
競争相手：自分たちの商品が誰を対象にしているのか、何をセールスポイントにして提供しているのか(差別化) どのような売り方をするのか。

取引相手：単純に、商品を仕入先に販売するのではなく、自分たちのパートナー(協力相手)となっているか。

・様々な飲料メーカーがペットボトルのお茶を販売しているが、化粧品やトイレタリー大手メーカーが販売した「脂肪を消費しやすくする」お茶は、爆発的なヒット商品となった。これは、先述のポイントに当てはめれば、消費者が健康を求めている、飲料メーカーの追求する「味」ではなく機能性で売る、特定保健用食品としてコンビニエンスストアやドラッグストアを中心に販売、となり、的確なマーケティング戦略に基づいている。

2 マーケティング実践としてのブランド

・ブランドの語源は、もともと英語の「burned(焼印を押す)」に由来しており、自分の家畜と他人の家畜を間違えないように焼印を押して区別していたことが



ら、商品に付けられるもの、他と識別するためのものとされ、名前やデザイン、シンボルなど多岐にわたっている。

・例えば、「関アジ」「関サバ」と呼ばれる魚のブランドは、大分県大分市の佐賀関で一本釣り（網捕りでは魚同士が擦れて傷が付いてしまう）で採れるマアジ、マサバであり、水揚げ時の個体管理から販売先の絞り込み（高級料理店、百貨店等）まで消費者の口に入るまでの徹底したブランド戦略により、高級品としての高い付加価値を生み出している。

ブランドマネジャーは、問題のブランドを、企画、開発し、実験し、生産し、販売・マーケティングするという、ブランドにかかわるすべての活動を統一的に把握し、それら諸活動を調整し、そしてそのブランドの業績に責任をとる。

石井洋蔵(1999)『ブランド』岩波新書、29頁

⇒ 「ブランド」づくりには、統一的な活動が必要

3 マーケティング力向上のための商品企画

・私の研究室では、企業と共同で商品開発を行っている。（井村屋(株)、敷島製パン(株)、山崎製パン(株)、サークルKサンクス等と実績あり。）その際に、学生には「企画はゼロから生まれる訳ではない。先入観を持たずに、数多くのアイデアを出すことが必要である。」と指導している。

企画立案の流れ

アイデア収集	□ 「0から1は生まれない」
アイデア拡張	→ 1を1'や2へ変えたオリジナリティ → 企画とは観察から生まれる発想
プレスト	□ 企画立案の際には先入観や前提をいかになくすかが重要
企画立案	□ クライアントや上司を納得させる「論理」と、欲しいという共感を生む「アイデア」を両立させる必要がある
企画書の検証	□ 「良い」企画とは
企画書作成	・ 顧客ニーズに合致している
企画書プレゼン	・ クライアント(上司?)のニーズに適合
企画実行	・ スケジュールや予算といった「しぼり」に対応

・マーケティング力を向上させるためには、普段から取扱商品のことを考え、その商品に対して顧客が何を求めているのかを常に考えることが重要である。併せて、ニュースや新聞等で入ってくる様々な情報を鵜呑みにするのではなく、

本当にそうなのか？（物事の本質を求める）
 なぜそうなのか？（物事の真相を探る）
 じゃあどうすべきか？（実践方法を考える）

と思考する訓練を続けていく事が必要である。

アイデア収集
アイデア拡張
プレスト
企画立案
企画書の検証
企画書作成
企画書プレゼン
企画実行

論理
「何故そうなるのか」

アイデア
「(具体的に)どのような商品にするのか」

論理に裏付けられたアイデア構築が大切
 企画の良し悪しはアイデアの良し悪しで左右される部分が多い。しかし、アイデアは絶対的に主観に左右されるもの、勝手に認めてもらおうと思ったら、客観的に評価しやすい論理の強弱が欠かせない。

4 まとめ

商品開発（ブランド創出）のための企画立案は、先入観なく数多くのアイデアを出し、その中から顧客のニーズとマッチした論理的なアイデアを絞り込んでいくものであり、才能や能力ではなく、普段からその訓練が必要である。

マーケティング力を向上させるには、物事を単一的な視点で眺めるのではなく、複眼的に捉える必要がある。

【参考】坂田 隆文 氏 プロフィール

1998年 滋賀大学経済学部卒業、2003年 神戸大学大学院経営学科研究課博士課程修了後、2003年 中京大学商学部講師に着任、2007年 中京大学総合政策学部准教授、2014年より教授、現在に至る。

〔研究分野〕流通業のビジネスモデル、企業のマーケティング戦略、医療経営、トヨタ生産方式の異業種への活用、商品企画等

〔近著〕『1からのリテール・マネジメント』（碩学舎）『1からの商品企画』（碩学舎）

第63回関東東海花の展覧会を開催しました

関東東海花の展覧会は昭和26年から行われている伝統ある展覧会で、ここで開催される花の品評会は日本最大とされています。

この展覧会は花に対する理解を深め、一層の消費拡大を図ることを目的として、1都11県（愛知、茨城、群馬、栃木、東京、埼玉、千葉、静岡、神奈川、岐阜、三重、山梨）が中心となって毎年開催しており、今回は愛知県が当番県となって、平成26年1月31日から2月2日までの3日間、東京・池袋のサンシャインシティ文化会館で開催しました。

31日のオープニングセレモニーでは、展覧会の会長である大村秀章愛知県知事が主催県を代表してあいさつをされ、テープカットを行いました。続いて、大村知事がご説明役となり、高円宮妃殿下、典子女王殿下に会場をご観覧いただきました。



オープニングのテープカット



高円宮妃殿下、典子女王殿下御高覧

1 特別展示 ～1万本の切花と鉢物で愛知県の魅力を表現～

愛知県特別展示では、「虹でつながる花の王国あいち～虹の架け橋をわたって愛知から世界へ、そして未来へ～」をテーマに展示を行いました。高いデザイン性とともに、「花の王国あいち」として日本一の生産を誇る本県産の切花がふんだんに使われた展示により、首都圏の花き関係者及び消費者に対して、愛知県及びあいちの花に対する関心を高めてもらうことができました。



【タイトルオブジェ】

「花の王国」愛知県の地勢図を配置



【シンボルオブジェ】

世界へ、未来へ羽ばたくペガサス

2 品評会 ～ 4部門で農林水産大臣賞を獲得～

一般公開の前日（1月30日）に行われた品評会の審査会では、10部門（カーネーション、きく、ばら、球根切花、一般切花、枝物、花苗、観葉植物、一般鉢物、洋らん）について、草勢、花の形質、花と茎葉のバランス、病害虫などの品質に加えて、商品性が審査され、入賞が決定されました。今回の総出品点数は1,693点で、このうち優れた品質を有する512点（金賞86点、銀賞170点、銅賞256点）が入賞しました。

愛知県からは236点の出品があり、11点が金賞を受賞し、そのうち、カーネーション（鳥居優氏、品種名：モモカ）きく（斉藤則夫氏、品種名：神馬）ばら（天野真光氏、品種名：カタリナ）観葉植物（森山敏雄氏、種類名：シェフレラ）の4部門で、第一席である農林水産大臣賞を獲得し、本県産花きの品質の高さを示すことができました。

他には、銀賞23点、銅賞32点の入賞がありました。



農林水産大臣賞
カーネーション
鳥居氏 モモカ



農林水産大臣賞
きく
斉藤氏 神馬



農林水産大臣賞
ばら
天野氏 モモカ



農林水産大臣賞
観葉植物
森山氏 シェフレラ

3 一般公開

この展覧会は3日間にわたり一般に公開され、多くの来場者でにぎわいました。その中には「質の高い様々な種類の切花、鉢物を見ることが出来る展覧会」として毎年楽しみにしている来場者も多くみられました。また、会場では、フラワーアレンジメント教室や花育教室、フラワーバレンタインのPRコーナーや都県紹介コーナーなども設置し、大盛況でした。

また、首都圏は本県産花きの主要出荷先です。出品された作品には産地や生産者名が記された出品票がつけられており、本県の生産者の実力を消費者に大いにアピールする絶好の機会となりました。



大盛況の会場内



花育教室

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：みつば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	538	526 (97%)	567	564	静岡 (2%)
26年見通し	520	-	550	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>尾張を中心に水耕で周年栽培されている。重油高の影響が続いていることと、水菜等の水耕野菜を栽培する農家が増えていることから、収穫量は減少傾向にある。収穫量は減少しているものの、需要も減少していることから単価も下落傾向にある。</p>			<p>若い世代を中心に、みつばの食べ方を知らないことも多くなってきている。家庭で味噌汁や炒め物等でおいしく食べられることを宣伝する等、みつばの需要促進に向けた工夫が求められる。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：ペコロス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	19	12 (65%)	609	687	ニュージーランド (25%) オーストラリア (8%) 北海道 (2%)
26年見通し	18	-	610	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>今年の1～3月の入荷量は51t（対前年比96%）、平均単価は578円/kg（101%）であった。前年との違いは、北海道産の入荷量が大幅に少なく、ニュージーランド産が増えている。本県産は例年どおり5月に入荷のピークを迎えると思われる。入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は外国産の影響を受け、前年並になる見込み。</p>			<p>ペコロスは、業務向けを中心に安定した需要がある。近年外国産の入荷量が増加しているなか、5月の愛知産に対する期待は大きく、また品質的に評価が高いことから、多くの安定した入荷量を求めている。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

名古屋市中央卸売市場

4月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	21年	39,226	195	209	196	185	愛知 31%
	22年	36,281	213	235	198	209	北海道 7%
	23年	36,170	189	187	190	191	長崎 7%
	24年	37,549	208	211	210	203	茨城 6%
	25年	36,875	178	194	182	165	
	5ヵ年平均	37,220	197	-	-	-	
	26年見通し	35,900	196	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知が中心。冬場の関東地方を中心とした雪の影響が懸念されるが、現在は天候にも恵まれ、全体的に生育は順調。5月からは春夏物が多く出てくる。入荷量は前年よりやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
だいこん	21年	2,388	85	84	84	88	愛知 84%
	22年	2,280	89	87	90	92	鹿児島 7%
	23年	2,286	58	51	54	78	長崎 3%
	24年	2,530	98	87	115	97	千葉 2%
	25年	2,360	69	78	71	67	
	5ヵ年平均	2,369	80	78	83	85	
	26年見通し	2,400	75	75	75	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
4月の産地の主力は愛知で、鹿児島、長崎からも入荷する。好天、適雨により生育は順調であり、太りも良好。下旬からは、愛知産から青森産になるが、青森産の生育が若干後れがちであることから、品薄感が懸念される。							
にんじん	21年	2,252	202	142	120	88	徳島 81%
	22年	2,950	112	116	108	128	岐阜 13%
	23年	2,663	117	147	130	114	愛知 2%
	24年	2,591	129	119	115	131	長崎 2%
	25年	2,444	116	124	114	111	
	5ヵ年平均	2,580	133	129	117	116	
	26年見通し	2,500	120	120	120	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地の中心は徳島であるが、下旬より岐阜、愛知が出てくる。徳島、岐阜、愛知ともに生育状況は順調である。入荷量は前年並みで、価格はやや上昇の見込み。							

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

東京都中央卸売市場

4月23日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	21年	137,120	222	233	218	216	千葉 18%
	22年	134,986	225	239	212	225	茨城 15%
	23年	136,710	201	199	195	232	佐賀 8%
	24年	145,994	220	218	226	217	埼玉 5%
	25年	145,709	192	203	190	184	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	140,304	212	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	145,000	210	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
入荷の中心は関東産地となり、土物類果 菜類は西南暖地からの入荷が本格化する。 4月の気温は平年並みかわずかに低かった が、日照時間は十分に確保され、主要野菜 の生育は順調である。入荷量は多かった前 年よりわずかに下回り、価格は安かった前 年をかなり上回る見込み。							
だいこん	21年	8,952	89	87	89	91	千葉 80%
	22年	9,678	90	98	87	85	茨城 11%
	23年	9,642	64	55	57	81	鹿児島 2%
	24年	10,728	97	85	114	96	栃木 2%
	25年	9,623	72	89	70	56	(愛知産比率1%)
	5ヵ年平均	9,728	83	83	88	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	9,500	75	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉からの入荷が中心となる。千葉は ピークを過ぎ、徐々に減少していく。今後 増える青森は若干生育に遅れがあるが東京 向け入荷量は関東産地の出方次第。入荷量 は前年をわずかに下回る見込み。価格は前 年よりやや高いが平均よりかなり下回る見 込み。							
にんじん	21年	8,427	131	151	135	108	徳島 67%
	22年	8,526	133	130	123	149	千葉 23%
	23年	8,730	138	152	140	138	埼玉 3%
	24年	8,894	127	126	120	135	中国 2%
	25年	8,380	126	129	124	124	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	8,591	131	138	128	131	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,500	125	120	125	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
徳島と千葉からの入荷が中心となる。徳 島は気温の上昇とともに入荷は前倒し傾向 で5月上旬まで潤沢入荷。千葉は連休明け から入荷し、下旬から潤沢入荷となる。入 荷量は前年よりわずかに上回る見込みで、 価格は前年よりわずかに下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	21年	2,141	93	115	82	81	茨城 64% 愛知 30% 長野 5%
	22年	2,251	90	105	78	86	
	23年	1,766	55	52	48	69	
	24年	1,825	74	58	84	91	
	25年	1,669	53	68	49	45	
	5ヵ年平均	1,930	75	82	70	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,700	60	60	60	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城を中心に、他に愛知、長野。 3、4月の気温の上昇とともに生産も順調な状況。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
キャベツ	21年	3,951	132	170	124	112	愛知 76% 茨城 13% 神奈川 6% 兵庫 2%
	22年	3,525	104	114	99	101	
	23年	4,061	55	62	49	57	
	24年	4,396	113	91	171	101	
	25年	3,966	70	96	71	52	
	5ヵ年平均	3,980	95	106	104	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,000	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は愛知。次いで茨城、神奈川。 作付面積は横ばいだが、出荷量は横這いか若干増加する傾向。生育も順調で、品物は潤沢になると思われる。 価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	21年	282	511	554	485	510	岐阜 70% 愛知 18% 茨城 4%
	22年	296	506	541	521	473	
	23年	244	448	355	444	533	
	24年	260	503	418	565	545	
	25年	283	467	495	515	420	
	5ヵ年平均	273	488	477	507	494	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	270	500	550	500	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は岐阜。次いで愛知。岐阜は飛騨からの入荷が中心となる見込み。愛知産はゴールデンウィークを目処に終了予定。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

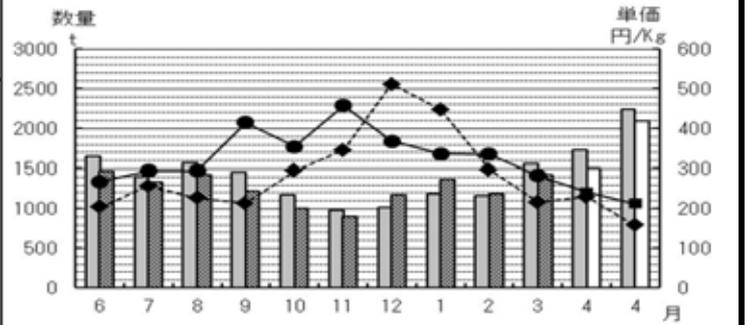
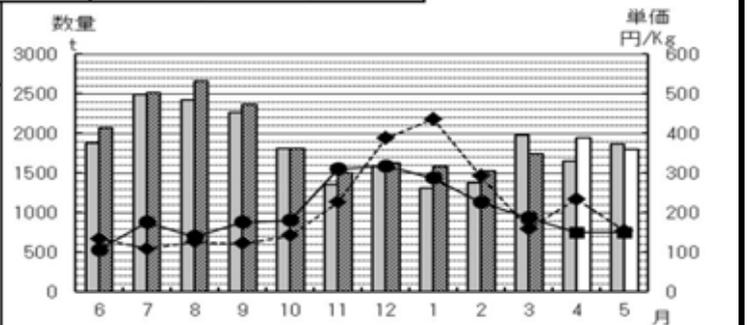
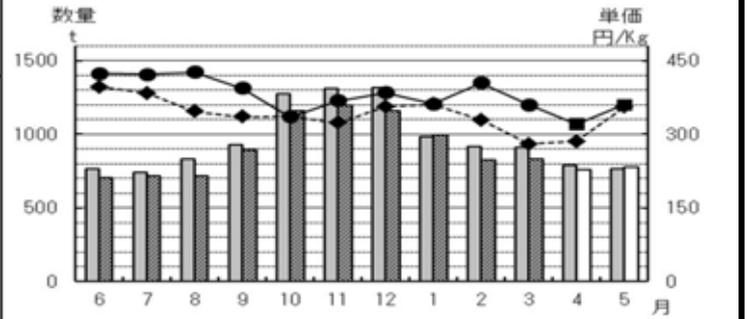
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	21年	5,749	69	89	64	57	茨城 96% 長野 2% 栃木 1% 熊本 1% (愛知産比率0%)
	22年	6,353	67	79	56	64	
	23年	5,860	32	28	27	47	
	24年	6,955	59	43	63	71	
	25年	6,537	37	49	35	27	
	5ヵ年平均	6,291	53	58	49	53	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	6,500	45	46	43	46	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となり、長野からの入荷も始まって来る。茨城は降雪の影響もあり、作付減と生育遅れがみられる。長野も生育遅れがみられたが、回復傾向にある。入荷量は前年をわずかに下回る見込みで、価格は前年より大幅に上回る見込みだが、平均には届かない模様。</p>					
		<p>ほうきの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は6月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月は減少傾向にあります。単価は6月～12月にかけて上昇傾向にあり、1月～5月は減少傾向にあります。</p>					
キャベツ	21年	16,800	72	75	84	59	千葉 41% 神奈川 35% 愛知 13% 茨城 9% (愛知産比率13%)
	22年	16,743	115	142	108	97	
	23年	18,886	88	92	77	94	
	24年	17,775	52	57	43	60	
	25年	19,217	61	70	62	48	
	5ヵ年平均	18,623	82	88	82	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	19,200	80	85	80	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川を中心とした関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも少雨と低温の影響で生育遅れがあるものの概ね順調な生育。春キャベツは引き合いが強いが連休明けは価格弱めの展開が予想される。入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は6月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月は減少傾向にあります。単価は6月～12月にかけて上昇傾向にあり、1月～5月は減少傾向にあります。</p>					
ほうれんそう	21年	1,536	427	472	391	430	群馬 37% 茨城 26% 埼玉 13% 岩手 11% (愛知産比率0%)
	22年	1,704	404	418	425	377	
	23年	1,344	379	310	389	442	
	24年	1,338	472	416	626	416	
	25年	1,602	373	478	376	303	
	5ヵ年平均	1,505	410	419	441	394	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,500	420	420	430	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城、埼玉の関東産地に加えて岩手からの入荷が始まる。群馬、埼玉、岩手は2月の降雪でハウス被害があった。茨城は作付増と生育良好で前年を大幅に上回る入荷見込み。入荷量はかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は6月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月は減少傾向にあります。単価は6月～12月にかけて上昇傾向にあり、1月～5月は減少傾向にあります。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

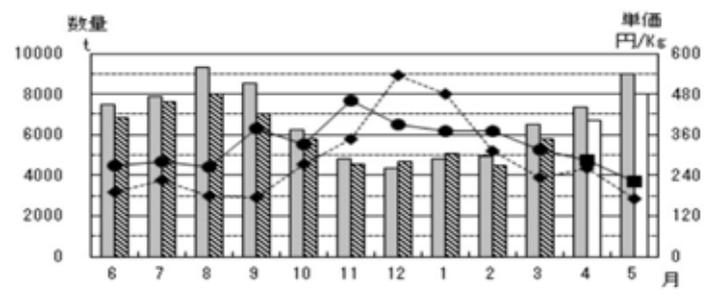
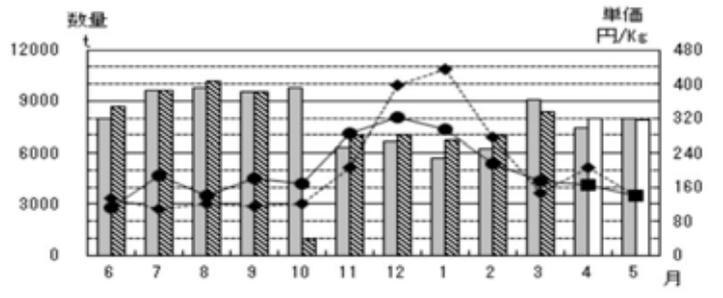
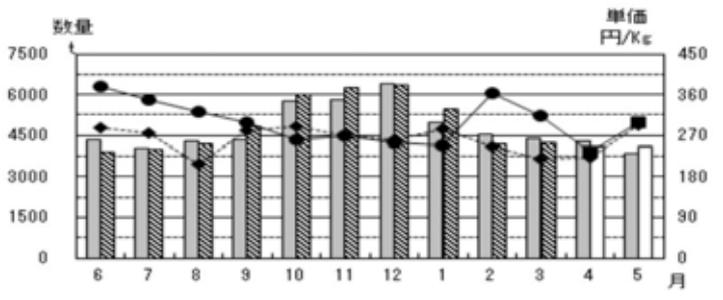
品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	907	379	392	357	390	愛知 29%
	22年	813	453	417	472	469	鳥取 16%
	23年	783	328	316	323	365	大分 14%
	24年	778	390	392	399	392	中国 7%
	25年	765	356	374	352	376	
	5ヵ年平均	809	382	379	381	399	
	26年見通し	780	360	370	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長ねぎの中心は愛知。ゴールデンウィーク明けには終了し、新ねぎへと生産は移行。今後は軟白が出始めるが、天候不良で遅れ勝ち。</p> <p>白ねぎの生産は静岡、鳥取、大分。下旬より夏ねぎに切り替わるが、出荷量が少なくなるのではないかと見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
しそ	21年	1,903	160	181	177	124	長野 60%
	22年	1,688	202	270	197	129	兵庫 29%
	23年	1,713	122	133	108	136	茨城 6%
	24年	1,863	195	194	211	189	愛知 3%
	25年	1,873	155	203	144	128	
	5ヵ年平均	1,808	167	196	168	141	
	26年見通し	1,800	150	190	140	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は長野、兵庫、茨城。各産地とも生育は順調。茨城は5月中旬には終了し、兵庫は5月下旬には終了する。5月後半からは長野中心の入荷となる見込み。</p> <p>入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。</p>					
きゅうり	21年	2,235	172	178	165	173	愛知 38%
	22年	1,992	195	180	200	208	宮崎 14%
	23年	2,316	221	166	233	276	高知 13%
	24年	2,044	222	227	261	198	埼玉 13%
	25年	2,244	158	191	162	153	
	5ヵ年平均	2,166	193	188	203	202	
	26年見通し	2,100	213	240	200	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は愛知。月の後半からは関東物が増えてくる。天候不良により関東物の減少が懸念され、出荷量、価格への反映が懸念される。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					



東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	4,029	330	303	320	362	茨城 33%
	22年	3,629	374	345	374	398	千葉 33%
	23年	3,803	314	308	298	347	埼玉 17%
	24年	3,972	331	394	279	324	中国 5%
	25年	3,842	293	279	266	328	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	3,855	328	327	307	352	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,100	300	320	280	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉などの関東産地からの入荷が中心。各産地ともここまで生育は順調で、5月は太物の発生率が高くなることが予想される。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回る。価格は前年をわずかに上回る見込みだが、平均には届かない模様。</p>					
<p>茨城、千葉などの関東産地からの入荷が中心。各産地ともここまで生育は順調で、5月は太物の発生率が高くなることが予想される。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回る。価格は前年をわずかに上回る見込みだが、平均には届かない模様。</p>							
しめじ	21年	7,857	139	159	149	115	長野 36%
	22年	7,205	184	269	173	127	茨城 36%
	23年	7,067	117	121	107	126	群馬 15%
	24年	7,804	180	171	202	171	兵庫 9%
	25年	7,922	141	168	133	122	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	7,571	152	178	153	132	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	7,900	140	160	140	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城などの関東産地に加えて長野からの入荷が始まる。長野は降雪の影響で定植が遅れたが気温上昇とともに生育が回復してきた。入荷は中旬から本格化する見込み。茨城、群馬も生育は順調。</p> <p>入荷量は前年並を見込み、価格も前年並みを見込むが、平均には届かない模様。</p>					
<p>茨城などの関東産地に加えて長野からの入荷が始まる。長野は降雪の影響で定植が遅れたが気温上昇とともに生育が回復してきた。入荷は中旬から本格化する見込み。茨城、群馬も生育は順調。</p> <p>入荷量は前年並を見込み、価格も前年並みを見込むが、平均には届かない模様。</p>							
きゅうり	21年	8,776	181	185	180	178	埼玉 31%
	22年	8,118	201	191	204	208	群馬 23%
	23年	7,906	222	182	208	268	茨城 12%
	24年	7,804	180	171	202	180	千葉 12%
	25年	8,975	169	198	159	152	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	8,518	199	197	205	198	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,000	220	240	220	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。主力の埼玉、群馬は降雪によるハウス倒壊の被害によって作付大幅減だが、茨城、千葉は降雪被害なく順調に入荷している。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
<p>関東産地からの入荷が中心となる。主力の埼玉、群馬は降雪によるハウス倒壊の被害によって作付大幅減だが、茨城、千葉は降雪被害なく順調に入荷している。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	21年	1,352	244	258	241	236	愛知 39%
	22年	1,343	290	342	282	252	熊本 39%
	23年	1,320	262	275	249	267	宮崎 16%
	24年	1,272	259	258	246	279	高知 6%
	25年	1,222	266	294	278	240	
	5ヵ年平均	1,302	264	286	259	255	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,250	260	250	270	265	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>産地の中心は愛知、熊本、宮崎。愛知は千両なす、熊本、宮崎は長なす主体。ゴールデンウィーク前後にピークを迎える。各産地とも生育は良好だが、下旬には成り疲れが懸念される。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格はわずかに下回る見込み。</p>						
ト	21年	1,678	294	329	315	249	熊本 45%
	22年	1,710	260	321	235	235	愛知 28%
	23年	1,961	193	227	177	195	三重 16%
	24年	1,779	343	391	327	323	岐阜 8%
	25年	1,995	237	282	263	197	
	5ヵ年平均	1,825	263	307	261	238	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,900	250	270	250	230	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>産地の中心は熊本、愛知。三重、岐阜が続く。各産地とも病害虫の被害はなく、出荷は順調。玉流れも非常に良いと思われる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						
ミ	21年	368	586	604	639	535	熊本 53%
	22年	390	556	649	519	494	愛知 35%
	23年	496	435	450	428	401	和歌山 8%
	24年	530	585	670	510	549	
	25年	561	499	523	493	461	
	5ヵ年平均	469	528	574	510	485	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	550	450	450	450	450	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>産地の中心は、熊本、愛知、和歌山。作況は順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
なた	21年	4,784	281	315	271	266	高知 42%
	22年	4,435	310	357	288	289	福岡 20%
	23年	4,262	314	330	305	328	群馬 10%
	24年	4,345	308	308	296	311	熊本 5%
	25年	4,445	295	342	306	253	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	4,454	302	330	293	294	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	4,450	300	300	300	300		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>高知を始めとする西南暖地中心の入荷となる。高知は5月出荷分の着果量は十分にあり、前年並の入荷が期待できる。他の産地も生育は順調にきている。 入荷量は前年並で、価格は前年よりわずかに上回る見込み。</p>						
トマト	21年	9,022	328	373	354	277	栃木 22%
	22年	8,546	299	331	277	293	熊本 21%
	23年	10,045	235	252	232	264	愛知 11%
	24年	9,931	363	403	340	344	千葉 9%
	25年	10,872	253	287	275	214	(愛知産比率11%)
	5ヵ年平均	9,563	283	329	296	278	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	10,000	270	280	260	300		
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>関東産地と熊本からの入荷が中心となり引き続き本県からの入荷もある。各産地とも生育順調で、気温の上昇とともに玉伸びし、昨年ほどではないが潤沢な入荷が期待できる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年よりかなり上回るが平均には届かない模様。</p>						
ミニ ト マ ト	21年	1,327	545	556	603	494	熊本 33%
	22年	1,440	529	632	482	478	愛知 24%
	23年	1,864	376	397	383	408	宮崎 12%
	24年	1,982	548	642	491	511	千葉 10%
	25年	2,230	448	493	458	403	(愛知産比率24%)
	5ヵ年平均	1,769	483	544	483	459	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	2,200	450	500	450	400		
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知、千葉、宮崎等からの入荷となる。本県産は、天候に恵まれ順調な入荷が期待でき、他産地についても同様で、若干大玉傾向となっている。 入荷量は前年並で、価格も前年を見込むが、平均には届かない模様。</p>						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	819	251	333	215	217	宮崎 30%
	22年	764	347	540	293	265	茨城 29%
	23年	757	194	217	193	224	鹿児島 24%
	24年	824	296	393	296	261	
	25年	821	241	361	251	191	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	797	266	369	250	231	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	800	280	270	250	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は、宮崎、鹿児島、高知。茨城など新しい産地からの出荷が増えており、5月ごろから入荷量が増加する見込み。生育は順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は大幅に上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	21年	4,399	128	143	139	113	長崎 58%
	22年	3,339	175	191	158	183	鹿児島 21%
	23年	4,218	194	209	230	165	北海道 17%
	24年	4,030	110	162	111	90	
	25年	3,844	94	104	101	91	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	3,966	140	161	148	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	3,800	110	120	110	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は、北海道産から鹿児島。その後は長崎に中心が移る。どの産地も生育は順調。安定した販売が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	21年	5,828	73	68	76	76	愛知 54%
	22年	5,767	87	100	83	80	北海道 29%
	23年	4,515	70	88	73	58	兵庫 10%
	24年	4,393	88	90	83	92	佐賀 4%
	25年	5,049	61	61	61	61	
	5ヵ年平均	5,111	76	81	75	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,500	78	85	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は愛知であり、大玉で生育は順調。中旬以降は北海道産が出てくる。作付面積が減少していることが懸念材料。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	2,681	291	338	301	247	茨城 73%
	22年	2,368	384	519	346	317	高知 12%
	23年	2,492	219	227	200	238	宮崎 9%
	24年	2,621	330	393	304	295	鹿児島 5%
	25年	2,701	272	362	259	202	(愛知産比率-%)
	5ヵ年平均	2,573	298	368	282	260	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,700	300	320	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城は低温の影響を受けたが、生育は概ね順調に推移してきており、5月にまとまった量が期待できる。高知も順調な出荷が続く。 入荷量は前年並を見込み、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	21年	9,902	142	137	140	150	長崎 50%
	22年	9,484	175	174	158	197	鹿児島 23%
	23年	9,534	207	191	222	208	北海道 17%
	24年	12,363	112	147	106	94	熊本 5%
	25年	10,682	101	96	104	105	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	10,393	144	149	146	151	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	10,200	110	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>九州産地中心の入荷となる。九州各県は、作付減少だが、生育順調で大玉傾向、4月末からまとまった出荷となる。北海道は5月上旬以降は前年より少ない。 入荷量は前年をやや下回る見込み、価格は前年をかなり上回る見込みだが、平均には届かない模様。</p>					
たまねぎ	21年	12,412	99	97	97	102	佐賀 66%
	22年	12,218	109	126	104	99	北海道 9%
	23年	14,244	78	95	86	59	兵庫 8%
	24年	14,161	100	102	97	100	香川 3%
	25年	15,134	65	64	67	66	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	13,634	89	97	90	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	14,400	85	85	84	86	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀からの入荷が中心となる。主要産地はいずれも生育順調で5月連休明けからピークを迎え、前年に近い入荷量が期待できる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回るが平均には届かない模様</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果	21年	11,202	320	317	310	331	熊本 31% フィリピン 21% 青森 13% 愛知 9%
	22年	10,647	312	323	305	310	
	23年	9,766	321	325	321	316	
	24年	9,703	318	330	314	315	
	25年	9,242	340	367	343	315	
	5ヵ年平均	10,112	322	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	8,800	340	-	-	-		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	産地は熊本、フィリピン、アメリカ、青森が中心。国産品は昨年10月の気温が非常に高かったこと、冬場の雪の影響を受け、入荷量は減少傾向が続いている。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。						
その他メロン (アールスメロン以外)	21年	1,197	325	404	345	273	熊本 63% メキシコ 21% 愛知 10%
	22年	1,002	363	418	379	314	
	23年	1,267	311	429	322	296	
	24年	993	368	437	379	344	
	25年	1,223	332	382	315	333	
	5ヵ年平均	1,136	338	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	1,100	320	360	310	310		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	産地の中心は熊本、メキシコ。熊本は上旬がピークであり、中旬以降は愛知が出てくる見込み。天候次第で入荷量が変動してくる。入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。						
すいか	21年	1,950	212	225	217	195	熊本 89% 愛知 11%
	22年	1,770	209	218	208	202	
	23年	1,725	206	221	214	217	
	24年	1,631	233	280	244	226	
	25年	1,752	210	243	216	207	
	5ヵ年平均	1,766	214	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	1,730	210	240	210	200		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	産地は熊本中心。生産者減により作付けは減少しているが、気温が高く、作柄は良好。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果	21年	33,700	329	353	331	308	熊本 25%
	22年	30,129	347	362	343	338	青森 15%
	23年	30,218	342	374	336	320	フィリピン 11%
	24年	29,035	369	401	362	347	茨城 11%
	25年	29,429	357	376	355	343	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	30,502	348	-	-	-	前年及び本年の
26年見通し	29,800	360	-	-	-	入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心にびわ、みかん等のハウスものが入荷する。ハウスみかんは燃油高騰の影響で早期作型が減少し出始めの量は昨年からさらに減る。びわはやや生育が遅れているものの作柄は問題ない。全体の入荷量、価格はともに前年並みとなる見込み。						
ア ン ズ メ ロ ン	21年	1,202	377	478	482	304	茨城 66%
	22年	659	474	475	490	460	熊本 15%
	23年	1,141	392	438	392	366	静岡 0%
	24年	755	446	558	492	375	(愛知産比率 -%)
	25年	971	420	436	409	418	
	5カ年平均	946	414	472	448	375	前年及び本年の
26年見通し	950	440	520	480	370	入荷量・価格の動き	
ア ン ズ メ ロ ン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城、熊本から入荷する。両産地ともに着果・肥大は良好で品質も良い。熊本は作付けが品目転換でやや減少している。玉は2L中心で5月上旬がピーク、茨城は平年並みの作付けで5月中旬がピークとなる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る。						
す	21年	7,086	224	253	234	198	熊本 72%
	22年	5,606	236	253	228	228	千葉 14%
	23年	6,141	227	246	232	211	茨城 10%
	24年	6,239	254	287	259	232	群馬 4%
	25年	6,405	237	252	241	229	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	6,295	235	258	239	219	前年及び本年の
26年見通し	6,600	230	250	230	230	入荷量・価格の動き	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本中心に茨城、千葉から入荷する。熊本は出始めは少なかったが、着果状況は良好で安定した入荷が見込める。茨城も出始めは少なかったが、平年並みになる見込み。千葉は着果も良好で下旬にハウス物がでる。平年並みの出荷となる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。						
い	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本中心に茨城、千葉から入荷する。熊本は出始めは少なかったが、着果状況は良好で安定した入荷が見込める。茨城も出始めは少なかったが、平年並みになる見込み。千葉は着果も良好で下旬にハウス物がでる。平年並みの出荷となる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。						

切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 4月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	21年	3,444	27	
		22年	2,079	44	
		23年	2,084	38	
		24年	1,838	46	
		25年	2,063	40	
	5ヶ年平均	2,302	37		
26年見通し	2,000	40			
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。色物は夏菊の出荷も始まったが、白については後半以降。大きな山もなく、平年並みと思われる。一般需要は見込めず、業務中心の動きで単価は左右する。				
小 ぎ	実 績	21年	1,195	24	
		22年	819	33	
		23年	998	35	
		24年	1,147	28	
		25年	1,111	25	
	5ヶ年平均	1,054	29		
26年見通し	1,150	25			
概要	沖縄、愛知から入荷。地場産は少ないことから沖縄産中心に動くが、気温の上昇とともに品質が気になり。色バランスもあまり良くないことから物により価格差が大きくなる可能性がある。				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	21年	1,819	42	
		22年	1,749	34	
		23年	1,768	37	
		24年	2,102	32	
		25年	1,904	43	
	5ヶ年平均	1,868	38		
26年見通し	1,800	40			
概要	愛知、長野、和歌山等から入荷。今年は特に3月の冷え込みが厳しく、4月に一気に気温が上がり、前半に集中出荷となった。そのため、母の日前後はスプレーに関しては問題はないが、スタンダードは大きな山もなく、若干少なめな状況と思われる。				
か す み	実 績	21年	271	62	
		22年	214	70	
		23年	256	53	
		24年	259	61	
		25年	267	61	
	5ヶ年平均	253	61		
26年見通し	270	60			
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。下旬には長野からも出荷が始まる。前半は母の日商戦で活発な動き、入荷も順調。気温上昇で品質さが表れるので気を配る必要がある。中旬以降は下位等級中心に厳しい販売となりそう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	21年	383	156	
		22年	359	159	
		23年	416	144	
		24年	400	144	
		25年	405	156	
	5ヶ年平均		393	151	
	26年見通し		400	155	
概要	<p>オリエンタルは高知、埼玉、愛知などから入荷。新潟産も日々増えてくる。前半は少なめで、物日以降は増えてきそう。母の日はカサブランカ中心に活発な動きが見込まれるが、入荷次第では厳しい展開もあり得る。LA、鉄砲は入荷少なく、相場は安定、昨年よりも高い流れ。</p>				
洋らん	実績	21年	302	88	
		22年	396	67	
		23年	386	80	
		24年	349	90	
		25年	451	78	
	5ヶ年平均		377	80	
	26年見通し		400	80	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、徳島等に輸入物が入荷。シンピジウムは国産から輸入品に移行してくる。コショウランは季咲きの物が一段落し、価格は持ち直してくるだろう。カトレアも4月の低調な市況を脱して落ち着いた状況になろう。</p>				
ばら	実績	21年	1,150	67	
		22年	1,000	69	
		23年	1,012	70	
		24年	1,028	70	
		25年	1,108	73	
	5ヶ年平均		1,060	70	
	26年見通し		1,100	70	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。高冷地の青森、長野の出荷も始まり、入荷は順調。母の日がらみの引き合いが予想される。下旬に向けては厳しい販売になるが、4週目の週末は日柄がよく、期待できる。</p>				
枝もの	実績	21年	1,269	43	
		22年	1,589	39	
		23年	1,587	40	
		24年	1,611	41	
		25年	1,687	43	
	5ヶ年平均		1,549	41	
	26年見通し		1,650	43	
概要	<p>愛知、岐阜、静岡から入荷。前半は休日の関係もあり、枝物の消費は鈍化するだろうが、子供の日、母の日と2週続けてイベントはあり、関連商材の動きはよいと思われる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カララ	実績	21年	44,063	533	
		22年	44,317	500	
		23年	34,160	539	
		24年	49,818	554	
		25年	51,200	516	
	5ヶ年平均		44,712	528	
	26年見通し		51,000	510	
概要	5号以上の作付けが減り、4号以下の生産量が増加しているため、入荷鉢数としては昨年を上回る。入荷量及び引き合いのピークは母の日の前の5月上旬となる。昨年同様、発色の良い物、輪数の多いものがより引き合いが強いと予想される。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(29.1%)、2位愛知(29.0%)、3位長野(21.5%)となっている。				
ファレス	実績	21年	52,823	2,145	
		22年	50,638	2,252	
		23年	55,214	1,932	
		24年	61,331	2,228	
		25年	57,985	2,201	
	5ヶ年平均		55,598	2,152	
	26年見通し		57,000	2,193	
概要	入荷量は大輪、ミディー共に昨年並か。昨年同様に母の日が終わると単価面で厳しくなることが予想されるので、上旬になるべく出荷をお願いしたい、また、中旬以降のミディー系は母の日で出荷したスタイルと変えていった方がメリハリが付きやすい。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(55.1%)、2位熊本(9.6%)、3位静岡(8.6%)となっている。				
バラ	実績	21年	83,350	397	
		22年	95,354	362	
		23年	89,686	355	
		24年	101,151	374	
		25年	108,690	385	
	5ヶ年平均		95,646	375	
	26年見通し		108,000	380	
概要	入荷量は昨年並みの予想だが、物日用(母の日)の3~3.5号(POT物)が不足しそう。税率のUPによる、買い控えの気配もあり、物日以降の販売は苦戦が予想される。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(49.4%)、2位愛知(36.8%)、3位その他(4.3%)となっている。				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドラ	実績	21年	216,332	669	
		22年	222,346	675	
		23年	239,420	690	
		24年	239,420	690	
		25年	246,258	725	
	5ヶ年平均		223,008	693	
	26年見通し		240,000	742	
概要	<p>入荷量は全体的に減少が。2月の雪の影響で関東地方は被害がひどいため、品種別にみると「フェアリーアイ」、「雨にうたえば」、「ダンス」などのガクアジ、ミカコ、未来、ババリア、チボリなどの覆輪の玉アジサイが人気。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(70.0%)、2位群馬(9.2%)、3位埼玉(3.6%)となっている。</p>				
スパティ	実績	21年	38,033	243	
		22年	50,241	258	
		23年	40,934	272	
		24年	35,908	298	
		25年	35,112	301	
	5ヶ年平均		40,046	273	
	26年見通し		35,000	286	
概要	<p>入荷量は昨年並か。4月でも寒の戻りがある日は引き合いは弱い。母の日の寄せカゴ商材として4月下旬から引き合いが強くなる。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(42.3%)、2位愛知(33.1%)、3位岐阜(18.2%)となっている。</p>				
カーネーション	実績	21年	433,670	472	
		22年	366,430	466	
		23年	370,288	450	
		24年	365,580	434	
		25年	402,651	429	
	5ヶ年平均		387,724	451	
	26年見通し		400,000	420	
概要	<p>今年の母の日も昨年と同様の日程なので、入荷量は昨年並か。近年、競売単価も安定しているため、全体相場も安定か。ピンクが不足気味のため、引き合い強めか。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(48.9%)、2位埼玉(7.3%)、3位群馬(7.2%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2014年)

1 輸入実績

品名	2月						2月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	79,580	119.8	8,566,515	105.5	108	88.1	169,661	132	18,088,260	114	107	86
トマト	425	93.9	175,411	100.1	413	106.5	961	102	394,408	104	410	102
たまねぎ	29,103	161.6	1,713,738	127.4	59	78.8	64,833	170	3,739,285	137	58	81
にんにく	1,190	96.7	193,327	77.0	162	79.6	2,848	102	461,302	82	162	80
ねぎ	4,799	111.5	541,142	114.2	113	102.4	9,282	104	1,128,673	117	122	113
ブロッコリー	2,856	103.0	537,535	107.3	188	104.2	5,163	85	993,331	92	192	108
結球キャベツ	6,130	186.2	262,224	188.1	43	101.0	13,122	186	576,120	201	44	108
にんじん・かぶ	5,493	95.2	333,394	96.5	61	101.3	11,427	113	720,596	134	63	119
ごぼう	3,295	117.3	308,261	218.8	94	186.6	7,196	104	693,055	210	96	203
えんどう	40	15.3	13,896	15.2	347	99.1	112	22	43,479	24	387	109
アスパラガス	2,250	119.8	1,091,398	107.2	485	89.4	3,275	127	1,871,004	120	571	94
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-
しいたけ	365	63.8	137,834	72.5	378	113.5	828	65	312,276	75	377	116
かぼちゃ	12,849	85.7	944,033	88.9	73	103.7	31,906	126	2,514,769	130	79	103
果実(生鮮・乾燥)	114,797	89.6	17,653,570	105.7	154	118.0	231,021	92	36,816,700	114	159	125
バナナ	66,296	92.1	5,344,755	102.7	81	111.5	134,550	94	10,834,485	107	81	114
パイナップル	9,686	86.6	668,449	114.7	69	132.5	19,088	82	1,307,137	104	68	127
レモン	3,881	95.1	790,097	153.0	204	160.8	8,344	115	1,709,083	190	205	166
オレンジ	7,124	74.9	1,128,081	106.5	158	142.3	12,012	75	1,880,083	106	157	141
グレープフルーツ	8,761	99.2	1,120,700	108.3	128	109.2	18,648	89	2,429,102	102	130	115
メロン	2,273	70.7	259,428	77.2	114	109.2	3,970	78	456,439	85	115	109
ぶどう	1,407	98.8	322,569	96.5	229	97.6	2,130	115	553,658	125	260	108
キウイ	63	24.9	20,152	33.2	320	133.2	63	13	20,152	17	320	134
いちご	1	6.9	1,983	15.3	1,983	220.8	7	39	9,546	54	1,310	138
切花(生鮮・乾燥)	2,721	85.9	2,355,308	91.7	866	106.7	5,542	86	4,949,175	96	893	111
鳥獣肉類	143,302	108.9	68,873,308	115.0	481	105.7	286,605	106	137,746,616	113	481	107
牛肉(くず肉含む)	33,688	109.4	17,803,899	115.3	529	105.4	67,375	103	35,607,798	114	529	110
豚肉(くず肉含む)	66,743	115.1	35,386,868	116.0	530	100.8	133,487	111	70,773,736	112	530	101
鶏肉	35,318	94.6	9,742,396	99.6	276	105.3	70,637	97	19,484,792	104	276	108
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	101,833	84.5	72,127,977	108.2	708	128.0	247,118	91	167,184,681	116	677	128
まぐろ類	18,303	100.3	18,789,620	128.2	1,027	127.9	33,692	100	32,722,062	125	971	125
さば・さんま・あじ・いわし	5,718	75.1	1,156,479	83.3	202	110.9	21,276	102	4,721,757	133	222	130

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	1,833	161.2	727,396	175.6	397	109.0	5,959	94	2,552,438	110	428	117
うんしゅうみかん	54	249.2	25,410	274.5	471	110.1	208	181	115,915	205	558	113
りんご	1,728	163.2	605,232	190.0	350	116.4	5,540	93	2,143,284	106	387	114
なし	-	-	-	-	-	-	8	48	4,365	50	529	105
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	223,521	116.5	-	-	-	-	460,797	110	-	-
緑茶	283	141.2	631,631	144.3	2,232	102.2	527	153	1,195,525	147	2,269	96

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年10月	100.7	103.3	92.5	100.3	105.0
	11月	100.8	103.9	96.7	100.7	104.9
	12月	100.9	105.4	104.9	101.3	106.7
	26年 1月	100.7	105.8	114.2	102.1	107.0
	2月	100.7	100.5	113.1	102.0	108.1
愛 知 県	24年平均	99.7	98.0	105.3	99.1	102.1
	25年10月	100.5	107.1	93.0	100.3	105.2
	11月	100.6	106.8	96.0	100.9	105.6
	12月	100.8	109.8	109.3	99.9	106.0
	26年 1月	100.4	108.4	120.9	101.2	106.9
	2月	100.5	103.7	116.6	100.8	108.5

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年10月	96.2	102.7	91.9	71.7	110.6
	11月	107.2	102.0	115.7	97.8	113.7
	12月	109.5	102.5	118.9	109.3	116.5
	26年 1月	109.0	102.7	118.4	114.7	111.1
	2月	107.9	102.5	112.7	101.8	111.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年10月	2,131	168	201	608	479	324	209	365	256	622	776	164	
11月	2,131	175	184	581	597	314	196	384	248	798	779	158	478
12月	2,107	217	194	705	655	303	175	413	267	661	765	190	503
26年 1月	1,999	226	187	630	702	306	158	418	297	630	671	1,715	517
2月	2,016	207	167	627	545	306	156	391	305	588	624	1,723	485
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
24年平均	582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年10月	485	267	356		217	781	557	156	171	312	233	812	397
11月	488	272	352		214	751	522	159	183	332	227	851	393
12月	523	382	381	209	221	790	528	162	186	350	224	708	335
26年 1月	598	382	409	197	226	812	533	156	167	322	228	838	402
2月	601	356	437	117	232	770	533	157	161	326	227	795	399

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 491
平成26年5月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421